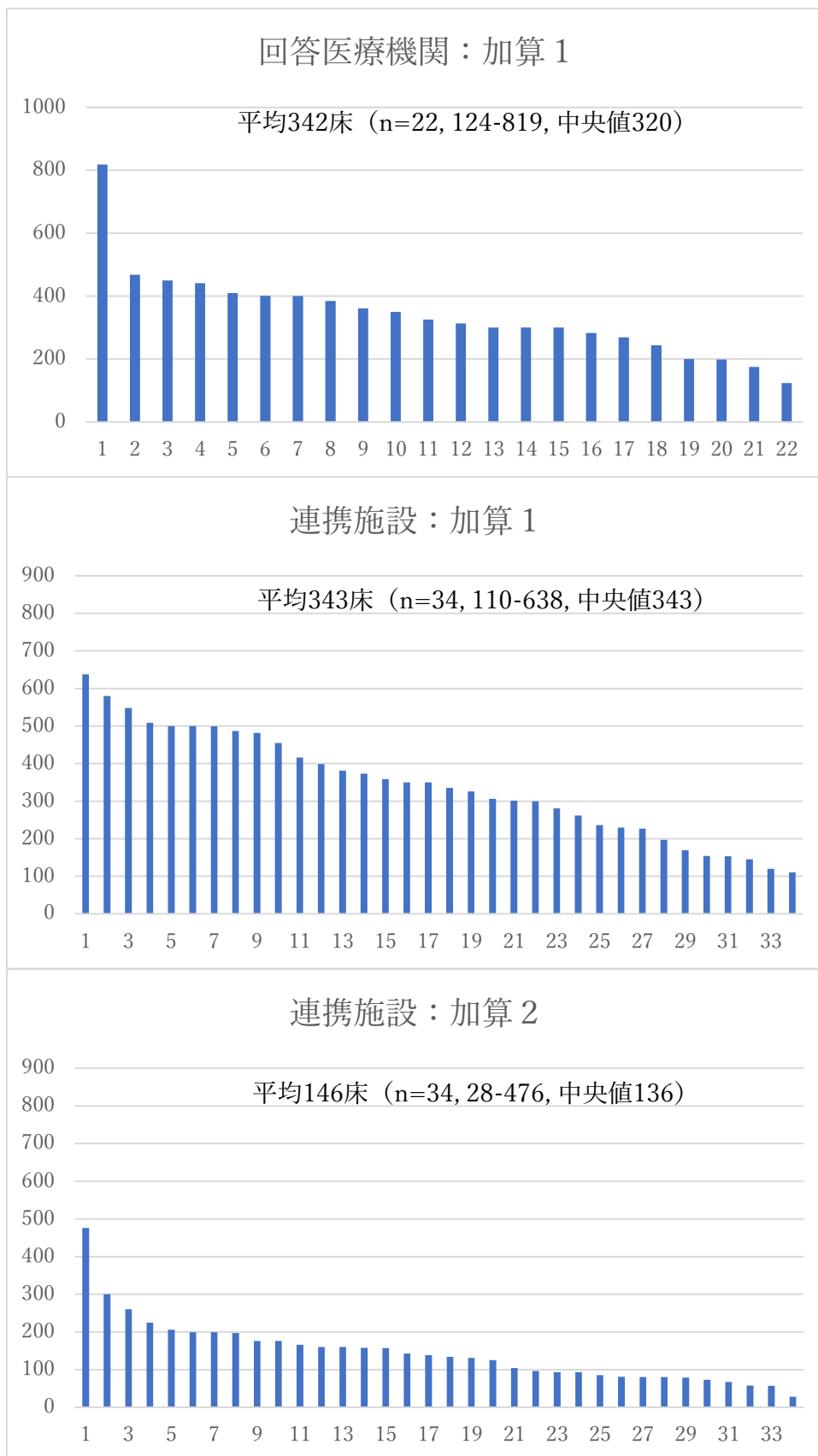


1. 基本情報（アンケート回答施設及び連携施設の病床数）

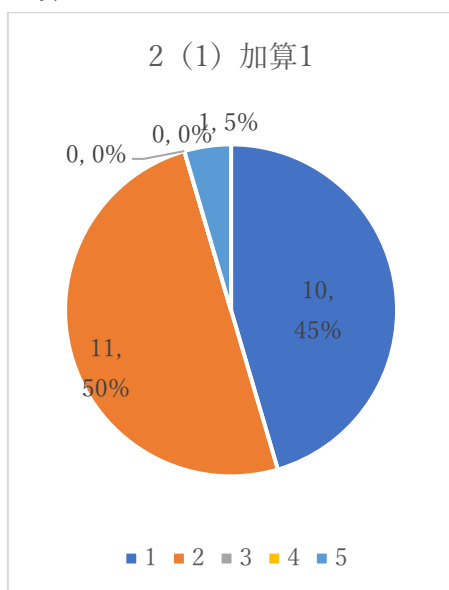


2. 医療安全対策地域連携加算の効果について

(1) 相互評価は、貴院における医療安全の推進に役立っていると感じますか。加算1と加算2に分けて回答をお願いします。

1 大いに役立っている 2 どちらかと言えば役立っている 3 どちらかと言えば役立っていない 4 全く役立っていない 5 どちらとも言えない

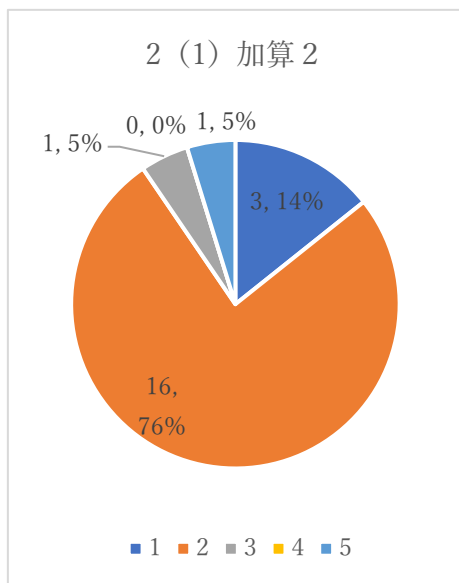
加算1 1・2・3・4・5



1	連携病院は同様の規模、診療内容、電子カルテ等共通点が多い一方で、民間病院であるため、当院と比較できるところも非常に多く、当院の改善点のヒントを多くもらっている。また地域連携加算のラウンドのみならず、日常的に医療安全にかかわらない様々な相談や当院主催の転倒勉強会参加などつながりができている。
1	相互ラウンド前に自己評価を実施することで、自院の現状を客観的に確認することができ、評価が低いところを改善しようとするから。近隣の病院と連携をすることで、「顔の見える関係」となり、お互いに連携を取り合うことができる、仲間ができることが大きいです。
1	連携施設の良い取り組みを参考にできるから。連携病院の課題・解決したいことについて指摘し合い、改善できるから。
1	加算1 同士の相互評価では、学ぶことが多く刺激になる。
1	同じ規模の病院であり安全への取り組みの参考になる。
1	医療に携わる多職種の方々が集まるため、他施設の取り組みと自院の傾向と課題に気づくことができる機会となっている
1	加算I、IIともに他院での取り組みを実際に見たり、知ったりする貴重な機会となっている。また、評価を受けることで、自院の取り組みを見直す機会とな

	る。
1	加算1に関しては、当院で医療安全の取り組み上悩んでいる点などについて、指摘をいただくことで新たな気づきがあったり、訪問して実際現場を見せていただき参考にできるものがある。
1	指揮命令で動く組織であることから医療安全対策に厳格に取り組んでおり、職員の絶対的協力があり医療安全文化醸成度も非常に高い病院である。医療安全への組織化された多職種での取り組みや多少のユーモアや遊びを取り入れ、堅苦しくならないような工夫もされており、大変参考になる。
1	同じ評価表を活用した他者評価により、自院で不足している項目への理解と、改善計画を考えることができる。
2	他施設と情報交換、共有ができること、悩みの相談ができるため
2	毎年取り組み内容を話し合い、同じ目標に向かって現状と問題提議をすることで、当院でも取り組める内容であったりと、情報共有の場になり役に立つため。
2	情報交換が出来る。迷った時に相談できる。連携病院での取り組みを聞ける
2	同規模の病院の状況から、医療安全対策への過不足がみえやすいし、活かしやすい。
2	11月に加算1病院との評価を行いました。病院の機能や方針によってマニュアルの内容が異なる点について、考え方や取り入れてるシステムは参考になりました。しかし、病院の方針等によっては、参考程度となる点もありましたので、上記回答としました。
2	加算1の施設間では、情報を共有することで、自施設での改善点や不足している箇所が明確になる。また、対策のヒントが得られる。
2	各取り組みに対して参考にすることが多い。情報共有の場になっていると思われる。指摘事項に関しては病院としての投げかけにすることができている。
2	自施設の評価を行う機会となり、連携施設と共有を行う事で課題や改善へのヒントなどに繋がる。
2	地域の病院と情報共有および協働できる医療安全対策を検討する機会として役立っています。
2	同様の機能を持つ病院の取り組みを参考にできる
2	他施設と連携することで、当院の医療安全体制について参考になることも多く、情報交換の場となっているため
5	加算1の施設へはコロナ禍で2年間訪問していない。また今年度当院の担当者も変わり評価ができない。

加算2 1・2・3・4・5



上記の理由を教えてください

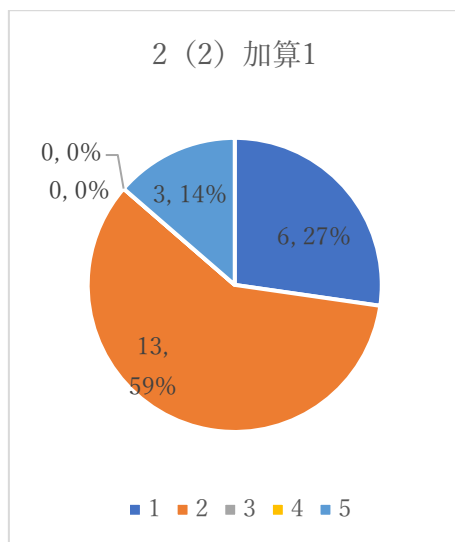
1	医療安全に関する内容については当院からアドバイスをすることも多いが、小規模の民間病院ならではの院内の連携の良さや工夫など学ぶことは多い。また地域連携加算のラウンドのみならず、日常的に医療安全での相談や当院主催の転倒勉強会参加などつながりができている。
1	連携施設の良い取り組みを参考にできるから。連携病院の課題・解決したいことについて指摘し合い、改善できるから。
1	事例分析が得意な加算2病院と事例分析勉強会を行い知識が得られている。
2	相互ラウンド前に自己評価を実施することで、自院の現状を客観的に確認することができ、評価が低いところを改善しようとするから。近隣の病院と連携することで、「顔の見える関係」となり、お互いに連携を取り合うことができる、仲間ができることが大きいです。
2	毎年取り組み内容を話し合い、同じ目標に向かって現状と問題提議をすることで、当院でも取り組める内容であったりと、情報共有の場になり役に立つため。
2	2A：研修等の資料を提供する時（W チェックについて）見直しなどをするため改めて確認することが出来た。2B：2年前まで1-1連携病院であり、いつも医療安全についての相談に乗ってもらっている。1-1と1-2の違いについて教えてもらっている。2C：電子カルテがない状況での指示確認方法について話し合いが出来る。2D：ラウンドを通してとてもきれいで最小限のものしか置いていないので、当院でも取り入れたいと思っている。

2	加算 2 は、連携施設の現状を知り指導内容などを検討する機会になる。
2	規模の異なる病院の状況を知ることができ、規模に合わせた安全への対策を共に検討することができる。
2	加算 2 の施設は昨年から現在の施設へ変更となっている。昨年度は前任者が訪問していた。今年度初めて自分が訪問させてもらった、加算 2 の施設であるが当院でも参考にできる情報が得られた。
2	医療安全についての質問を受けることがあり、自施設の状態を考えるきっかけや振り返りの機会となることがある。
2	医療に携わる多職種の方々が集まるため、他施設の取り組みと自院の傾向と課題に気づくことができる機会となっている
2	各取り組みに対して参考にすることが多い。情報共有の場になっていると思われる。指摘事項に関しては病院としての投げかけにすることができている。
2	加算 I、II ともに他院での取り組みを実際に見たり、知ったりする貴重な機会となっている。また、評価を受けることで、自院の取り組みを見直す機会となる。
2	自施設の評価を行う機会となり、連携施設と共有を行う事で課題や改善へのヒントなどに繋がる。
2	地域の病院と情報共有および協働できる医療安全対策を検討する機会として役立っています。
2	小規模な施設でも患者優先の安全を工夫しており参考になった
2	加算 2 については、コロナ禍によって私自身は相手施設に訪問した経験がなく、Web 会議によるものでした。ですが、Web 上だけでも、先方の施設で工夫している取り組みを聞き、小規模病院ならではの良さや、当院が見習うべき点などにも気付くことができました。実際に訪問できたら、より多くの発見があるのではないかと考えている。
2	当院は脳卒中患者が多く、入院 1 週間を経過すると回復期と同様の治療計画の方が多いため、転倒インシデントが多いことや認知症患者の安全なケアの充足など共通する課題があるため、共に考えることができ有意義である。
2	他施設と連携することで、当院の医療安全体制について参考になることも多く、情報交換の場となっているため
3	相談をされるが、助言になっているのか不明なため
5	加算 2 病院との評価は今後の予定でしたので、5 の評価としました。

(2) 相互評価は、連携施設における医療安全の推進に役立っていると感じますか。加算1と加算2に分けて回答をお願いします。

1 大いに役立っている 2 どちらかと言えば役立っている 3 どちらかと言えば役立っていない 4 全く役立っていない 5 どちらとも言えない

加算1 1・2・3・4・5

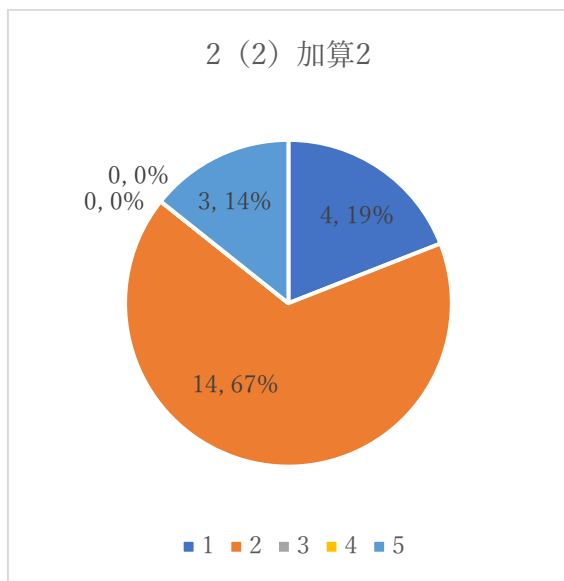


上記の理由を教えてください

1	連携施設は KKR のような関連施設を持たないため、他の病院との比較や取り組みなどの情報交換をすることがなかなか難しかったよう。特に医療安全管理者は相談相手や色々な情報を得ることができてよかったと言っていた。
1	連携施設も同じく、自己評価をすることで客観的に確認できると思います。
1	新たな発想での取り組みが参考になる
1	加算1 同士の相互評価では、互いに学ぶことが多く刺激になる。
1	加算1の施設については、現状の取り組みや困りごとなど情報共有する機会となっている。
1	他者評価をもとに改善した点について次の評価時に記載されており、役立っていると思う。
2	内容は継続して行うべきものだと認識しています。外部の評価を受けることで気付きがあります。
2	同規模の病院の状況から、医療安全対策への過不足がみえやすいし、活かしやすい。
2	加算1 病院との今回の評価では、当院の使用している麻薬金庫が参考になったようです。また、ハイリスク薬の基準を作成予定との事で、当院の情報提供をさせて頂きました。

2	設問（１）と同様。相互評価を行い情報交換ができるので、どこをどのように推進していくべきか明確となる。
2	情報の共有を行うことで連携施設の医療安全の推進に役立っているとは思いますが、それをどのように活用したかについての確認は行っていない。
2	お互いに情報提供し、それぞれ自施設の改善に参考となっていると考えている。前年話し合った内容が、次年に活かされているのが確認できた。
2	改善点の提示をされているおり問題提議できるとお伺いしている
2	
2	医療安全活動を共有・評価する機会を設けることに役立っています。複数の施設職員が同席(参加)することで、様々な視点からの情報交換を行うことができます。
2	改善項目を具体的に提示した
2	加算１の連携では、病院機能として急性期中規模以上の病院で、医療安全に関する体制も充実した病院同士になるため、画期的な大きな発見というのはそれほどないのではないかと感じている。どちらかと言うと、「虎の門がこの程度なら、自施設もこれくらいかな」といった水準を探る上での目安にする程度のように思う。
2	オカレンス報告システムが無かったり上下関係の自由なコミュニケーションが取れなかったりと組織自体の特徴があったが、当院など民間病院の在り様や取り組みを見て新しくオカレンスシステムを取り入れたり、コミュニケーションの研修をしたりしており、役立っているのではないか。
2	他施設からの視点で訪問チェックしてもらうことで、自施設の不足点や課題に気づく機会となるという意見が聞かれる。また、他施設から指摘を受けると院内での改善活動も進めやすいとの意見も聞かれる。
5	マニュアルは参考にして頂けたようであるが、現場の確認は行っていないため
5	今年度からの連携のため、相手病院に影響しているかわからない。
5	加算１の施設へはコロナ禍で２年間訪問していない。また今年度当院の担当者も変わり評価ができない。

加算2 1・2・3・4・5



上記の理由を教えてください

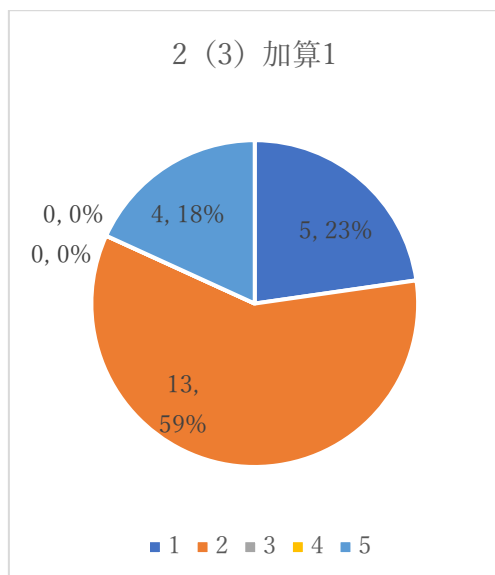
1	マニュアルの作成や委員会の開催方法など基本的なところから評価、アドバイスをしたことにより、院内の医療安全体制が整ってきたと言っていた。また第三者機関による監査にも耐えうる内容になったそう。
1	新たな発想での取り組みが参考になる
1	改善計画書の作成等のアドバイスをした
1	他者評価をもとに改善した点について次の評価時に記載されており、役立っていると考え。
2	連携施設も同じく、自己評価をすることで客観的に確認できると思います。
2	内容は継続して行うべきものだと認識しています。外部の評価を受けることで気づきがあります。
2	2A、2C、2D：医療安全マニュアルについても話合っている。2B：前年度まで1-1病院であった為、かなり前から情報交換している。お互いの医療安全推進に役立っている。医療安全推進週間についての話し合いもしている。
2	加算2は、評価で改善事項があがるため役立っている。
2	安全対策管理上、必要な事項の確認をされたり、相談を受けることがあるから
2	情報の共有を行うことで連携施設の医療安全の推進に役立っているとは思いますが、それをどのように活用したかについての確認は行っていない。
2	お互いに情報提供し、それぞれ自施設の改善に参考となっていると考えている。前年話合った内容が、次年に活かされているのが確認できた。
2	改善点の提示をされているおり問題提議できるとお伺いしている

2	加算 2 の施設については、評価後、実際に医療安全の推進等に活かすことができていると聞いている。具体的な相談等を受けることがあり、情報共有する機会となっている。
2	
2	医療安全活動を共有・評価する機会を設けることに役立っています。複数の施設職員が同席(参加)することで、様々な視点からの情報交換を行うことができます。
2	加算 2 の連携施設にとっては、こちらがあまり上手く改善へ向けた指摘やアドバイスをできていないように感じている。当院の取り組みを紹介したとしても、病院機能や規模が異なることで、加算 2 の連携施設が取り入れるには困難なことが多いのではないかと思う。
2	専従者も不在の中、これで良いのかと思いながらやっているところがあったようだが、評価を通して院内の医療安全対策の方向性や対策についての確信が持てたようであり、安心感につながったようである。
2	他施設からの視点で訪問チェックしてもらうことで、自施設の不足点や課題に気づく機会となるという意見が聞かれる。また、他施設から指摘を受けると院内での改善活動も進めやすいとの意見も聞かれる。
5	マニュアルは参考にして頂けたようであるが、現場の確認は行っていないため
5	加算 2 病院は未実施なので、現時点で評価できません。
5	加算 2 は今年度訪問は行ったが、前年度からの改善点など確認できておらず不明。

(3) 相互評価は、貴院における医療の質向上に役立っていると感じますか。加算1と加算2に分けて回答をお願いします。

1 大いに役立っている 2 どちらかと言えば役立っている 3 どちらかと言えば役立っていない 4 全く役立っていない 5 どちらとも言えない

加算1 1・2・3・4・5

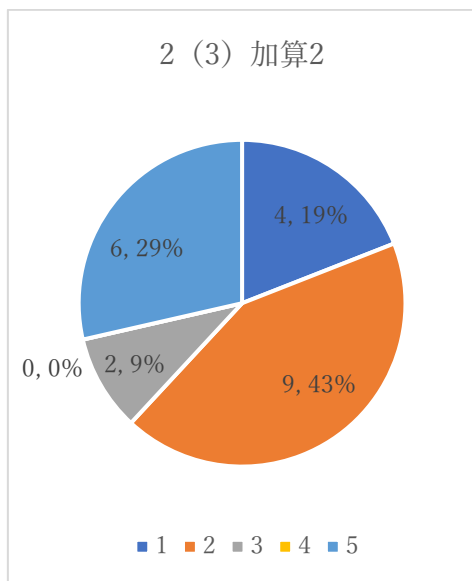


上記の理由を教えてください

1	規模が似ているため、評価が適切。また連携病院の良いところなども参考にしやすい。電子カルテのシステムが同様のため細かいところの評価までしてもらうことができる。また、管理者への報告では他院からの指摘という事で管理者にインパクトを与えやすい。
1	
1	当院は電子カルテシステム導入や医療安全推進活動の改善に必要性と感ずる機会となっております。情報提供は、具体的に取り組むべき方法や手段などに役立っています。
1	加算1については、査察や外部評価以外で、他施設の視点で当院を見た率直な感想を聞ける貴重な機会となっている。参考にできるものは積極的に取り入れる姿勢で相互評価を受けており、医療の質向上に役立っていると感じている。
1	同じ急性期病院として共通するアクシデントとその対策、医師や研修医が当院と連携病院で行き来することによる教育内容や事故予防対策の共有など、メリットが高い。
2	マニュアルの改訂、最新の情報共有が行えている。同規模病院との相互評価であるため、参考にしやすい

2	医療安全には役立っていますが、医療の質向上までには至っていないと感じます。医療安全と医療の質向上は一緒に向上していくことが大事だと思いますが、質の向上を評価したことがないのでわかりません。
2	数値的評価としてできる内容もあります。しかし、コア会議的にチェック表の見直しや、追加、削除など検討も必要と感じています。
2	自院で機能していることも連携病院の電カルシステム上困難なこともある。
2	相互評価の実施により、事故時の情報収集、問題把握、改善策の立案などに対する他病院の情報を得られ参考にできたから。
2	他施設の医療安全管理者の取り組みが刺激となり、自施設でも取り組みを強化することで、院内の質向上につながる。相互評価でスコア化することで、不足している箇所が明確になり、そこを重点的に強化することで、質が向上する。
2	自己評価表で医療安全活動の取り組みについての評価まで記載することで児施設の現状を把握でき、他施設の取り組みも参考にできるため。
2	指摘をうけた内容に関して、その関係部門と現状を共有し改善を図っているが、医療の質向上とはなかなか難しい
2	マニュアルや病院としての管理の視点など医療安全の観点から学ぶことも多く、当院での取り組みに関しても評価する良い機会となっている。
2	加算 1.2 とともに他院での取り組みを知る機会となっているため。
2	
2	改善できているところもあるが、質向上に役立っているとは言えない。対策に数年かかるものもある。
2	他施設と連携することで、当院の医療安全体制について参考になることも多く、情報交換の場となっているため
5	今年度からの連携のため、まだよくわからない
5	病院の機能等が異なることや、医師の考え方なども異なるので、評価が難しいと思いました。
5	加算 1 の施設へはコロナ禍で 2 年間訪問していない。また今年度当院の担当者も変わり評価ができない。
5	質評価まではできていない

加算2 1・2・3・4・5



上記の理由を教えてください

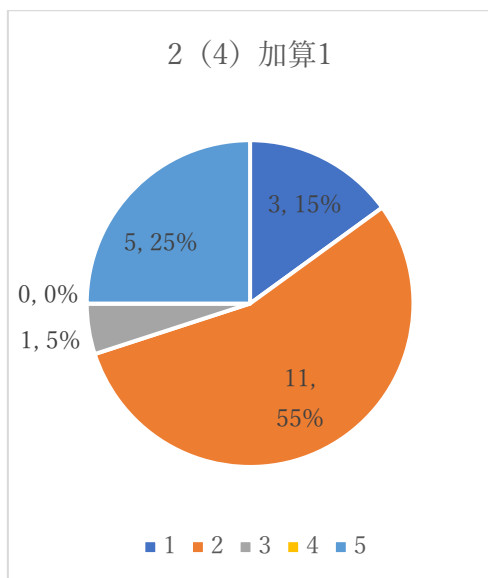
1	連携病院は規模が当院より小さいため職員同士のコミュニケーションや研修、医療安全管理者の育成等、組織の柔軟性や行動力等は非常に参考になる。
1	自院で機能していることも連携病院の電カルシステム上困難なこともある。
1	当院は電子カルテシステム導入や医療安全推進活動の改善に必要と感じる機会となっております。情報提供は、具体的に取り組むべき方法や手段などに役立っています。
1	加算2については、こちらが先方を評価する立場だが、他施設を見ることで自施設を振り返る機会となっている。小規模病院でここまで取り組んでいるのに、自施設では全くできていないと感じる部分などもあり、自施設の医療の質を考えさせられている。
2	数値的評価としてできる内容もあります。しかし、コア会議的にチェック表の見直しや、追加、削除など検討も必要と感じています。
2	
2	加算2は訪問で得た情報を役立てていきたいと考えている。
2	指摘をうけた内容に関して、その関係部門と現状を共有し改善を図っているが、医療の質向上とはなかなか難しい
2	マニュアルや病院としての管理の視点など医療安全の観点から学ぶことも多く、当院での取り組みに関しても評価する良い機会となっている。
2	加算1.2とともに他院での取り組みを知る機会となっているため。
2	

2	改善できているところもあるが、質向上に役立っているとは言えない。対策に数年かかるものもある。
2	他施設と連携することで、当院の医療安全体制について参考になることも多く、情報交換の場となっているため
3	医療安全には役立っていますが、医療の質向上までには至っていないと感じます。医療安全と医療の質向上は一緒に向上していくことが大事だと思いますが、質の向上を評価したことがないのでわかりません。
3	質向上、と問われると、役に立つことが思い当たらない
5	医療安全管理者が主任レベルであり、現場レベルの現状把握が でき 、 また、対応の参考にさせてもらっている
5	2A、2C、 2D：わからない。2B：前年度まで1-1だったので、お互いに情報交換や意見交換をしており医療の質向上に役立っている。
5	
5	活動を参考にすることはあるが、質の向上に役立っているという認識は少ない。
5	質評価まではできていない
5	質の向上という部分ではメリットは感じていない。

(4) 相互評価は、連携施設における医療の質向上に役立っていると感じますか。加算1と加算2に分けて回答をお願いします。

1 大いに役立っている 2 どちらかと言えば役立っている 3 どちらかと言えば役立っていない 4 全く役立っていない 5 どちらとも言えない

加算1 1・2・3・4・5

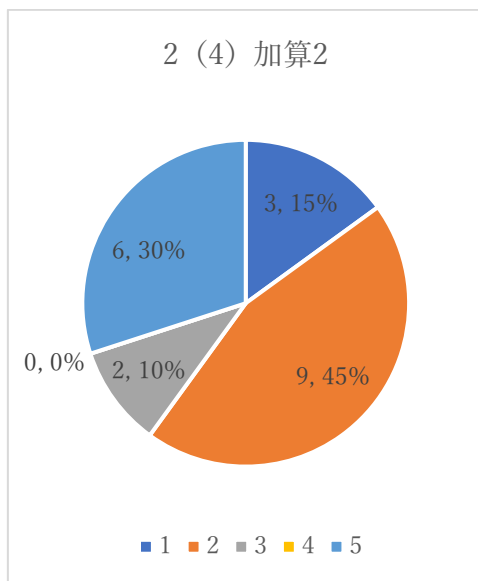


上記の理由を教えてください

1	院内急変時の対応、転棟予防、電子カルテの設定などについて当院の評価をもとに改善されたところがあるよう。
1	自院との比較を行う機会となり、課題を見据えた上で、連携病院の良い取り組みを見学させてもらえるから
1	
2	連携施設の医療の質向上に役立っているのか、確認したことがありませんが、当院と同じだと思います。
2	会議の時に改善策の報告をうけているため。
2	相互評価の実施により、事故時の情報収集、問題把握、改善策の立案などに対する他病院の情報を得られ参考にできたから。
2	先日も連携する加算2の施設に監査が入ったが、加算1の施設の取り組みを参考に様々な取り組みをしていたので、高評価をいただいたと報告があった。
2	改善が図られていることは感じるが、医療の質が向上しているかまでは、みえていない
2	
2	

2	現状の問題や課題などについて双方の施設の取り組みを情報提供し、統一できる方法(体制)を検討することで、質の向上に役立っていると感じています。
2	加算1の連携施設については、当院が感じていることと同程度ではないかと感じている。
2	数年前から民間人の受診受け入れをしてから、自衛官だけの診療では発生しなかった多様な問題に取り組むことになってから情報提供依頼が度々あり、当院の指針や対応上の取り決めなどの情報を提供しているため、メリットは感じているのではないかと。
2	他院からの評価をそれぞれの病院で検討し改善に生かしている。翌年の評価時に変更事項を確認させていただいている。
2	指摘されるまで、気づけなかったとの意見も聞かれる。加算2では他施設からのチェックが入ることで、自施設の体制整備が上層部とも相談しやすくなるとの意見も聞かれる。
3	日々の事例の分析・対策・評価だけでなく相互ラウンドを機会にマニュアルや抜本的な手順等の見直しの機会となっていると伺っている。
5	当院の助言により、施設の課題に対する改善策を立案し、取り組まれているが、質の向上に役立っているとは明言はできないため
5	加算1の連携病院は当院含めて4施設なのですが、相互評価していない病院との情報交換は今後の予定なので、現時点では、上記回答としました。
5	訪問での相互評価が役立っていたかの評価ができていない。
5	相互評価を行ったことで医療の質向上に繋がったかの確認はできていないため。
5	質評価はしていない

加算2 1・2・3・4・5



上記の理由を教えてください

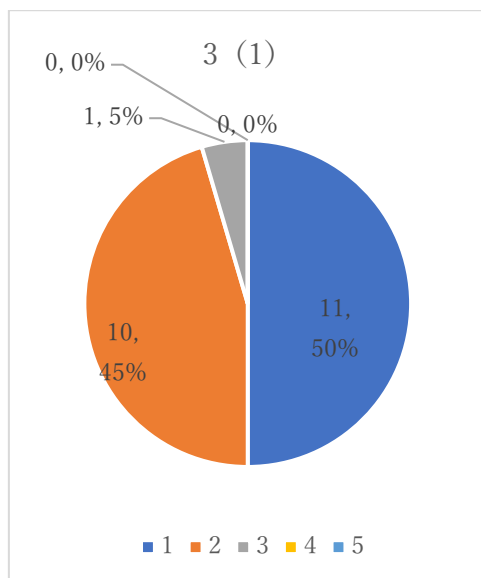
1	医療安全マニュアルの作成、改定、委員会の内容等院内の医療安全管理体制が整ってきているよう。
1	自院との比較を行う機会となり、課題を見据えた上で、連携病院の良い取り組みを見学させてもらえるから
1	現状の問題や課題などについて双方の施設の取り組みを情報提供し、統一できる方法(体制)を検討することで、質の向上に役立っていると感じています。
2	会議の時に改善策の報告をうけているため。
2	
2	事例に関する相談を受け、対策を提案し実行されているから
2	改善が図られていることは感じるが、医療の質が向上しているかまでは、みえていない
2	
2	
2	加算2の連携施設にとっては、上から目線の外部評価を受けているような気持ちになっているのではないかと思う。それがどこまで先方の質向上に役立っているかは分からないが、毎年、「(虎の門からの)アドバイスを元に、自施設で検討してみます」と答えてくれている。
2	認知症によるBPSDやせん妄患者の安全対策に苦慮されており、当院認知症サポートチームの活動内容や、やむを得ず薬物療法を実施する際の薬剤の選択方法などを情報提供している。お困り事に対してのアドバイスや参考資料などを

	提供しており、役立てていただいている。
2	他院からの評価をそれぞれの病院で検討し改善に生かしている。翌年の評価時に変更事項を確認させていただいている。
2	指摘されるまで、気づけなかったとの意見も聞かれる。加算 2 では他施設からのチェックが入ることで、自施設の体制整備が上層部とも相談しやすくなるとの意見も聞かれる。
3	連携施設の医療の質向上に役立っているのか、確認したことはありませんが、当院と同じだと思います。
3	日々の事例の分析・対策・評価だけでなく相互ラウンドを機会にマニュアルや抜本的な手順等の見直しの機会となっていると伺っている。
5	当院の助言により、施設の課題に対する改善策を立案し、取り組まれているが、質の向上に役立っていると明言はできないため
5	2A、2C、2D：わからない。2B：前年度まで1-1だったので、お互いに情報交換や意見交換をしており医療の質向上に役立っている。
5	
5	訪問での相互評価が役立っていたかの評価ができていない。
5	相互評価を行ったことで医療の質向上に繋がったかの確認はできていないため。
5	質評価はしていない

3. 自己評価実施の効果について

(1) 貴施設において、自己評価を実施することは、自施設の医療安全管理上の現状を明らかにすることに役立ちましたか。

1 大いに役立った 2 どちらかと言えば役立った 3 どちらかと言えば役立たなかった 4 全く役立たなかった 5 どちらとも言えない



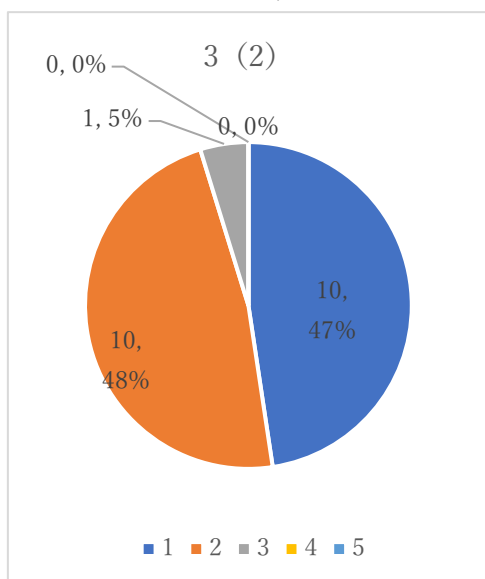
上記の理由を教えてください。

1	自施設を客観的にみる機会となり、マニュアルを最新のものに改訂できる。他部門へ聞き取りをすることで、現状把握がしやすい。
1	日常の業務に流され、現状を見直すことができません。相互ラウンドがあるから自己評価をする、現状を明らかにすることができると思います。
1	評価する機会があると深掘して確認するため
1	評価表を基に振り返るきっかけになるため。
1	改善しなければいけない点や、できていると評価できる点がわかり今後の活動に指針になる。
1	自院の状況を知り、できていること、不足していることに気づき、改善すべき点、修正が必要な部分を明確にすることができる
1	課題の抽出、自院の適正運用できているところなどが明確にできる。
1	相互評価以外の機会でも、系統的に自施設の医療安全管理の現状を振り返ることが他にないので、年に1回、相互評価のためにチェックシートを元に振り返ることで、自己点検になっていると思う。
1	自院の現状把握と、未整備な部分、今後の課題などを整理することに役立っている。

1	評価表の項目で、自院で不足している項目が理解できた。
1	自施設の取り組みを見直す機会になり、不足点も見えてくるため
2	改めて当院の現状を知ることができて役立っている。ただし、連合会の医療安全ラウンドの自己評価もあり、相互評価の内容の決定には調整を要することもある。
2	多くの項目がある中、問題抽出しやすいため。
2	色々見直す機会になっている
2	自己評価をしたことで、気づかなかった改善事項がわかったため
2	評価は大変ですが、項目に沿って現状を共有できるので、課題点を把握する上で役に立ったと思いました。
2	このような機会が定期的にあることで、自己評価を行い、自施設を客観的にみることが出来る。
2	昨年度は南大阪医療安全ネットワークの評価表を使用し、今年度は厚労省の評価表を使用した。自己評価を実施することで現状を振り返ることができた。自己評価をしても、何が正解なのかがわからないと感ずることがある。
2	厚生労働省から配布されている評価表を使用しているが、医療安全管理室は現状の見直し等に大いに役立っている。
2	自己評価を実施する事で求められていることを再確認し、現状把握の機会となっている。
2	項目ごとにチェックして整理できた
3	医療安全に関する課題は様々ですが、課題に対する評価指標(指針)や基準が明確ではないため、自施設の達成状況(段階評価)が難しく感じます。

(2) 貴施設において、自己評価を実施することは、自施設の改善すべき課題を明確にすることに役立ちましたか。

1 大いに役立った 2 どちらかと言えば役立った 3 どちらかと言えば役立たなかった 4 全く役立たなかった 5 どちらとも言えない



上記の理由を教えてください。

1	自施設を客観的に詳細に把握する機会となる。また、他部門と共に評価することで、看護部だけでは分からない課題を抽出することができる
1	改めてなかなか自己評価することがないため、自己評価によって課題がはっきり見える
1	整えなければならない視点が明確に示されているため
1	評価表の項目ごとに振り返りをするため。
1	改善しなければいけない点や、できていると評価できる点がわかり今後の活動に指針になる。
1	改善すべき点を認識することで、より細かく状況を調査し、修正することができる
1	課題の抽出、自院の適正運用できているところなどが明確にできる。
1	日々、手が回っていない部分は頭の隅に引っ掛かっているような状況であるが、チェックシートを元に振り返ることで、改善すべき課題を再認識する機会になっているのではないかと思う。
1	3 - (1) 同様、現状把握後に課題が明確になり、それに対する取り組みを経年で比較したり評価したりすることで進化している部分やさらなる課題の抽出に繋がっている

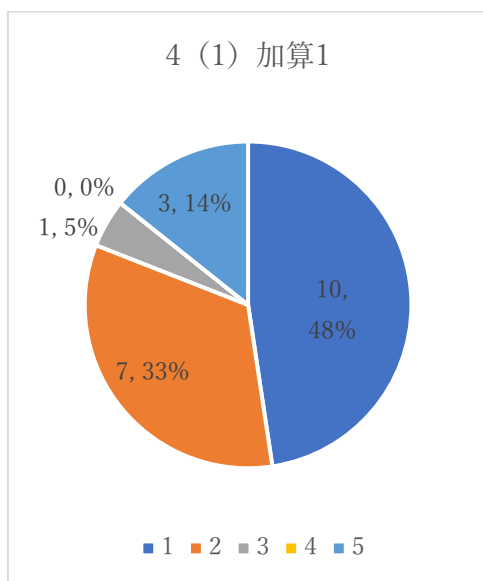
1	評価時に、参考本の評価の要素や解説を参考にすることで課題が明確になった。 (全日本病院協会の標準的相互評価点検表を使用しています)
1	評価基準に沿って評価をすることでできていると思っていることでも不足していることに気づくことができるため
2	チェックリストをもとに自己評価すること、また連携病院にプレゼンテーションすることで明確にはなっている。ただし、毎年作成するチェックリストの内容にもよる。
2	評価をして課題は明確になりますが、全てを改善につなげることができずジレンマを感じます。
2	実際の施設管理方法や、常備菜の見直しのきっかけになったため。
2	現状が明らかになり改善事項がみえたので、おのずと課題もみえたため
2	評価は大変ですが、項目に沿って現状を共有できるので、課題点を把握する上で役に立ったと思いました。
2	このような機会が定期的にあることで、自己評価を行い、自施設を客観的にみることができると感じます。
2	昨年度は南大阪医療安全ネットワークの評価表を使用し、今年度は厚労省の評価表を使用した。自己評価を実施することで、全職員への通知や他部門との連携不足、支援体制の強化など改善が必要な部分を把握することができた。
2	医療安全管理室は現状の見直し等に大いに役立っているが各部門等を巻き込んで実施することができていない。具体的な改善点などが現場レベルでなく抽象的になっている。
2	自己評価をすることで、日ごろ気づいていない課題について明確になった。
2	項目ごとにチェックすることで明らかにはなった
3	ラウンドで改善するポイントや指標など明確な判断基準がないため、評価することが難しく感じています。ラウンドにおいて適切な評価が行われることで、課題を明確にできるかはわかりません。

4. 連携施設評価の効果

(1) 貴院が、連携施設の自己評価結果（現状評価結果）を把握し、具体的な確認や院内巡回で見聞することにより、自施設の課題を改善するためのヒントを得るなど、自施設でも参考にしたい内容を明らかにすることに役立ちましたか。加算1と加算2に分けて回答をお願いします。

1 大いに役立っている 2 どちらかと言えば役立っている 3 どちらかと言えば役立っていない 4 全く役立っていない 5 どちらとも言えない

加算1 1・2・3・4・5

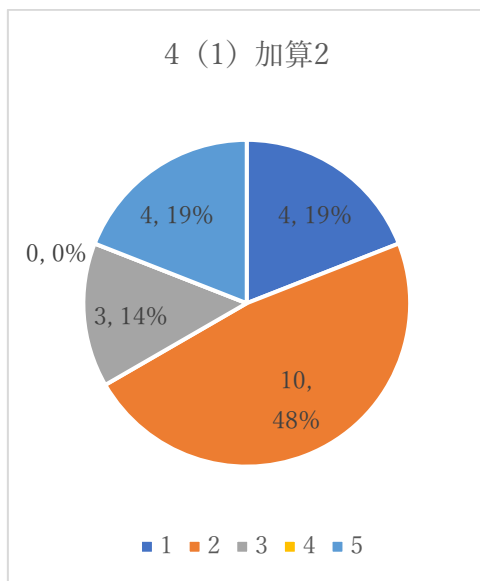


上記の理由を教えてください。

1	薬局の薬に関する介入方法を参考にできた。配薬、ボックスの色分け等
1	実際に連携施設をラウンドすることで、環境や資源（人員も）、マニュアル等参考にできることがあり、役立ちます。
1	比較して検討することができるため
1	加算1では参考にしたい内容がある
1	連携施設の取り組みを知ることができ参考になった。
1	専門職としての安全推進への意欲、チーム力、安全風土等も見聞し、具体的な安全対策や、様々参考にしたいことはたくさんあると感じる
1	昨年度は新型コロナウイルスで中断していた巡回を再開することができ、多職種による自施設との違いや改善すべきポイントなど、見聞きする機会となりました。医療安全対策として設備面の課題は介入困難ですが、インシデント事例など共通課題を抽出しているため、双方が有益な情報を提供できる機会として取り組んでいます。

1	加算1については、実際に先方の施設を巡回したり意見交換をしたりすると、自己評価の基準が当院と異なることもあり（当院よりもできている部分をできていないと評価していたり、当院では不十分と感じているレベルでも十分と評価していたり）、知見が深まっている。
1	部署ごとのリスクマネージャーの積極的な取り組みがあり、またその活動内容が参考にさせていただいている。
1	感染対応の中でも一部院内ラウンドを行ったり、資料をいただくなど、改善する際の参考とさせていただいている。
2	評価のポイントが縛られているためとても明確に課題を把握しやすい。しかし、細かすぎるとラウンド時間が膨大に必要なためものを作成すると作成時は注意が必要。
2	役に立つ部分もあるが、施設の規模的な外部環境として改善できないこともあるため。
2	安全な与薬の方法に苦慮していることの共有や、実際の方法をみることで、誤薬につながる危ない方法もみえることがあった。
2	自施設での取り組みや他施設の考え方を実際の現場のスタッフよりお伺いすることができて対策の立案・周知方法等様々なことを学ぶことができた。
2	加算1,2ともに、自施設と環境等異なるため、実際に取り組むことが難しいこともあるが、課題解決のヒントを得る機会となってい
2	施設見学できることで様々な情報が得られ、具体的な取り組みへ繋げるためのヒントを得やすい。
2	医療安全に関する他施設での取り組みや設備について参考にさせてもらっている
3	評価項目の内容が多く、また抽象的で院内巡回での見聞では全てを網羅できない
5	今回相互評価させて頂いた施設での取り組みを丁寧にご説明頂き、掲示物の工夫などはとても参考になりました。
5	自己評価を実施して他施設から意見やヒントをいただくことは効果的と感じるが、同じ評価ツールを使用していると、評価が高くなり（取り組んだ結果できている）指摘事項も減少する。院内巡回でも同様で、評価が高くなると参考になる取り組みが少なく、興味本位の巡回となってしまう傾向がある。
5	加算1の施設へはコロナ禍で2年間訪問していない。また今年度当院の担当者も変わり評価ができない。今年度は相互訪問の予定は立てているがまだ実施していないので評価できない。

加算2 1・2・3・4・5



上記の理由を教えてください。

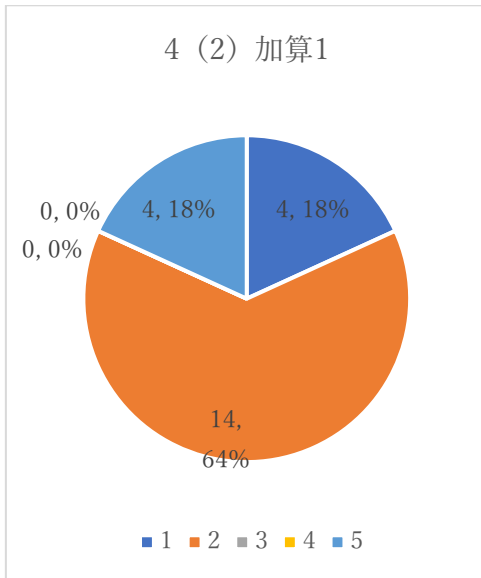
1	脳外科 分野 に特化した病院 であり、転倒転落や身体抑制に関して参考にさせてもらっている
1	比較して検討することができるため
1	昨年度は新型コロナウイルスで中断していた巡回を再開することができ、多職種による自施設との違いや改善すべきポイントなど、見聞きする機会となりました。医療安全対策として設備面の課題は介入困難ですが、インシデント事例など共通課題を抽出しているため、双方が有益な情報を提供できる機会として取り組んでいます。
1	感染対応の中でも一部院内ラウンドを行ったり、資料をいただくなど、改善する際の参考とさせていただいている。
2	評価やアドバイスがしやすい。しかし、規模が違うため、チェック項目が適切ではないときもある。
2	直ぐな改善にはならないが、照明や床材など参考にできることはあったため
2	加算 2 の施設は今年度初めて自分が訪問させてもらった、当院でも参考にできる情報が得られた。
2	全く役に立たないということはないため。
2	専門職としての安全推進への意欲、チーム力、安全風土等も見聞し、具体的な安全対策や、様々参考にしたいことはたくさんあると感じる
2	自施設での取り組みや他施設の考え方を実際の現場のスタッフよりお伺いすることができて対策の立案・周知方法等様々なことを学ぶことができた。
2	加算 1,2 とともに、自施設と環境等異なるため、実際に取り組むことが難しい

	こともあるが、課題解決のヒントを得る機会となってい
2	施設見学できることで様々な情報が得られ、具体的な取り組みへ繋げるためのヒントを得やすい。
2	回復期病棟における5S活動など、患者さんの活動に視点を当てた5Sへの取り組みが興味深く、またそれを参考にさせていただいている。
2	医療安全に関する他施設での取り組みや設備について参考にさせてもらっている
3	実際に連携施設をラウンドすることで、環境や資源（人員も）、マニュアル等参考にできることがあり、役立ちます。
3	役に立つ部分もあるが、施設の規模的な外部環境として改善できないこともあるため。
3	評価項目の内容が多く、また抽象的で院内巡回での見聞では全てを網羅できない
5	
5	加算2ではさほどないと感じるため
5	
5	加算2については、私自身が施設評価に行った経験がまだないので、どちらとも言えない。

(2) 貴院が、連携施設に対して改善が必要な内容についての提案を検討したことは、自施設の医療安全管理体制を振り返る機会として役立ちましたか。加算1と加算2に分けて回答をお願いします。

1 大いに役立っている 2 どちらかと言えば役立っている 3 どちらかと言えば役立っていない 4 全く役立っていない 5 どちらとも言えない

加算1 1・2・3・4・5

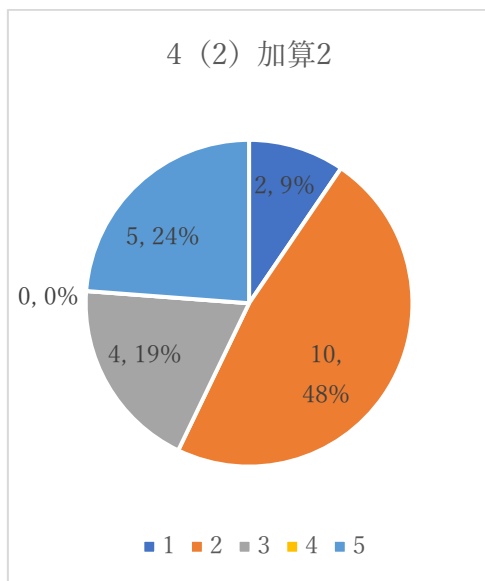


上記の理由を教えてください。

1	当院のできているところできていないところが明らかになり、当院職員への叱咤激励と改善点の明確化がしやすい。
1	加算1では参考にしたい内容がある
1	
1	加算1について、改善が必要な内容を検討するにあたり、自施設にも共通する課題だったりする場合には、連携施設に提案すると同時に自施設の現状と課題を再認識する機会となっている。
2	自院が全てにおいて優れているということではなく、連携施設の改善が必要なことを一緒に検討することは、自院においても有益です。
2	自院でも提案内容ができていないか振り返りの機会となります。
2	加算2の施設とは、色々違いがあり（電カルがある・ないとか）、例えば電カルが使えなくなったら等の状況時の行動マニュアルを見直すことが出来ると思った。
2	自施設のシステムがどのように効果的に機能しているのかを再確認できる
2	共感できる事項の改善内容であったりするので、振り返る機会にはなったから
2	加算1の施設間では、体制や組織図から見直しをしたり、医療安全管理者として

	の活動や取り組みで参考になることが多い。
2	自施設で必要と考えて活動している内容について情報を共有し改善を提案した。そのことは、当院の活動を振り返る機会となった。
2	自指摘の改善案を提案するときに自施設の取り組みも紹介するように心がけ振り返る機会となっている。
2	加算 1.2 とともに、改善提案の際に自施設の取り組みなども合わせて紹介しており、振り返る機会となっている。
2	
2	改善の提案はありませんが、必要な情報提供の依頼や提供を行い、医療安全に関するマニュアルや整備において、各々の施設で活用しております。
2	当院で実施、実践していることと比較して正しいかどうかを判断した
2	他院への提案が自院にもあてはまることも多く役立っている。
2	当院でもできていないこともあり一緒に対策を検討する機会となった
5	同規模の病院であり、自施設の取り組みを振り返る機会となったが、機能・得意とする疾患が違う病院同士であり、参考程度であった
5	コロナ渦明けで、何年かぶりに現場の監査を行った状況でしたので、今回の評価では管理体制を振り返るという所までは至っていないように思います。
5	加算 1 の施設へはコロナ禍で 2 年間訪問していない。また今年度当院の担当者も変わり評価ができない。今年度は相互訪問の予定は立てているがまだ実施していないので評価できない。
5	連携病院は人的・物的・経済的な部分で潤沢であり、必要であればトップダウンや医療安全管理室の権限で決められることもある。しかし、改善が必要な内容でも、組織の体制としてできない部分があるなど連携病院にとって困難な状況もある。当院でなかなか決められない事柄が、すぐに決定できる医療安全管理室の権限を強化することを検討しても良いのではないかと感じた。

加算2 1・2・3・4・5



上記の理由を教えてください。

1	当院のできているところできていないところが明らかになる。
1	加算2については、改善が必要な内容について、自施設と単純比較はできないからこそ、先方の施設にはどういった改善が適しているのかを考えている。それが、自施設の安全管理における基本が抑えられているかを振り返る機会となっているように感じる。
2	自院でも提案内容ができていないか振り返りの機会となります。
2	自施設のシステムがどのように効果的に機能しているのかを再確認できる
2	自施設が実施していることを伝えるために再度当院の現状も調査することになり振り返る機会となった。
2	
2	自指摘の改善案を提案するときに自施設の取り組みも紹介するように心がけ振り返る機会となっている。
2	加算 1.2 とともに、改善提案の際に自施設の取り組みなども合わせて紹介しており、振り返る機会となっている。
2	
2	当院で実施、実践していることと比較して正しいかどうかを判断した
2	他院への提案が自院にもあてはまることも多く役立っている。
2	当院でもできていないこともあり一緒に対策を検討する機会となった
3	自院が全てにおいて優れているということはなく、連携施設の改善が必要なことを一緒に検討することは、自院においても有益です。

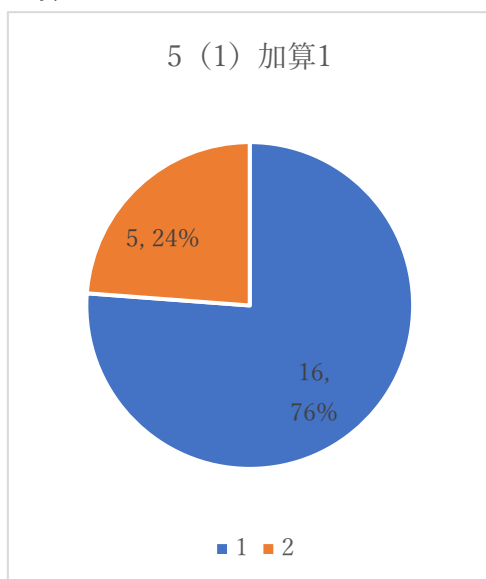
3	当院で活かせたり振り返る内容の改善提案ではなかったため
3	加算2は当院ではすでに行っていることであり特に役にたったとは思わない。
3	改善の提案はありませんが、必要な情報提供の依頼や提供を行い、医療安全に関するマニュアルや整備において、各々の施設で活用しております。
5	同規模の病院であり、自施設の取り組みを振り返る機会となったが、機能・得意とする疾患が違う病院同士であり、参考程度であった
5	今年度からなのでまだ提案できていない
5	加算2ではさほどないと感じるため
5	
5	人間的な部分での制限がありながら、少ない人材でいかに効率的に医療安全対策に取り組むかを考え工夫している点は、当院がさらに工夫して対策に取り組んで行く示唆を得るには参考にするべき点が多い。

5. 連携施設による評価の効果

(1) 連携施設からの「今後、改善が必要な内容」についての提案はありましたか。

1 あった 2 なかった（2を選択した場合6. の設問へ）

加算1 1・2



1を選択された場合、具体的にどのような提案でしたか。

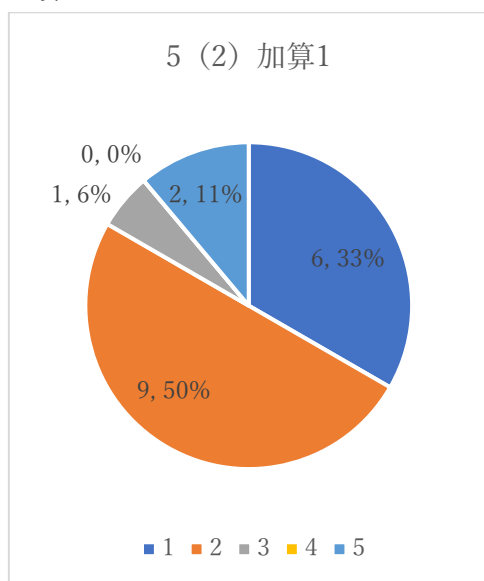
1	医療安全に関する職員の育成、薬剤部関連の加算の取得、放射線科による検像体制等
1	RRS の整備、患者誤認マニュアルの改訂（自ら名乗れない患者の対応）、本人の意思決定が行えない患者の対応
1	患者の安全な移送方法としてチェックリストを作成していたが、職員にマニュアル周知できていなかったことで、事案の発生がありました。この件に関して、チェックリスト自体は活用できるものであるとの評価を受け、今後は周知方法の徹底に取り組み、活用する提案を受けました。
1	投薬時の確認方法
1	連携施設では取り組んでいるが、当院では取り組んでいなかったことについて。
1	当院の自己評価で、造影剤に関する同意書の記載が一部不十分と評価していたので、その点について、同様の評価を頂きました。他は特に指摘項目はありませんでした。
1	臨床工学技士の業務拡大の提案として、①医療機器に関する研修の強化②手術室などでの専門職としての活動があった。
1	マニュアルの整備、薬剤のゾーニング、施設面の定期的なチェックラウンド、安

	全ラウンドの頻度、方法について
1	外来等での患者誤認対策（呼び込み時の名前の確認方法・システムの導入など）、検体の取り違い対策（危険物等の取り扱い・保管など）、転倒転落対策（同意書・記録等）
1	加算1について直近では、注射薬剤投与時の安全管理体制の見直しについて提案があった。
1	画像見落とし防止システム導入後、管理継続と運用面の徹底について助言があった。
1	病棟内洗濯室へのナースコール設置、服薬確認の電子カルテ看護指示入力
1	加算1の連携施設より、処方オーダー情報が服薬管理システムに自動的に取り込まれない現行のシステムに、手動での取り込み作業漏れのリスクがあるため、システムの変更もしくは現行システムにおけるリスク低減のための運用検討を提案された。
1	患者相談窓口の掲示、医療安全研修後の評価
1	加算1と加算2の病院から訪問があり、評価については参加病院でまとめたものを最終的に受け取っている。今年度は、口頭指示の手順・深部静脈血栓症・静脈注射に対する看護師への指導などがあった。
1	注射準備台のスペースが狭いこと。病棟の薬品保存冷蔵庫が家庭用のものであり医療用冷蔵庫への変更が望ましいこと。
2	
2	2A、2D：よくわからない。2B、2C：前年度のラウンドに課題を提示した際に、次年度ラウンドまでに、アクションを起こしている。良くなっているかは別として、指摘した課題に取り組む姿勢はある
2	
2	
2	

(2) 連携施設からの「今後、改善が必要な内容」についての提案は、貴院が、今後、課題を改善するためのヒントを得るために役立ちましたか。加算1と加算2に分けて回答をお願いします。

1 大いに役立っている 2 どちらかと言えば役立っている 3 どちらかと言えば役立っていない 4 全く役立っていない 5 どちらとも言えない

加算1 1・2・3・4・5



上記の理由を教えてください。

1	実際にラウンドをし当院の状況を把握したうえでの提案なのでとても取り組むの適した内容。
1	
1	
1	連携施設で注射薬剤投与時の安全管理体制について情報をえることができた。
1	加算1：当院におけるシステム検討時には、通常為されるべきこととして対応されなかったことが、連携施設では当たり前のこととして実施されていた。自施設にとって不便さはあるがやむを得ないこととして受け入れつつあったことが、やはりリスク低減のために検討が必要なのだと気付く機会にはなった。外部からの意見が、こういう場合に有効なのだ実感した。
1	他院からの評価をもとに課題に対して検討することができている。
2	自施設の職場風土、歴史が異なることもあり、ヒントを得ることはでき、本来は改善すべき点であると気づいても、改善に繋がらない
2	どういった計画で実施されたか聞くことで、多職種とも話し合える機会となるため。

2	
2	連携施設とは文書で「報告書」を出し合うことになっているため、自己評価の結果からご指摘をうけた改善点が文章化されていることにより、院内関係部署への働きかけがしやすい。
2	ハード面の改善は難しいところである。また電子カルテシステム等の違いによりシステム的な改善にはつながらなかったが、考え方や発想の転換等には役立った。
2	
2	
2	患者相談窓口は事務部担当のこともあり、患者向けの掲示物などに気を配っていなかった。今のところ事故調がらみの相談はないが、そのリーフレットなどを設置していることもあり、患者側の視点に立った掲示物の在り方を考える必要がある。
2	院内スタッフでは気づけないことが他施設からの指摘で気づくことができ対応策につながるため
3	現状の方法がインシデントの発生予防に繋がっているため
5	今回の指摘事項としては、当院で順次改善しようとしている内容でしたので、上記評価としました。
5	服薬確認の電子カルテ看護指示入力には自施設でも使用する場合がありますためヒントとまではいかない

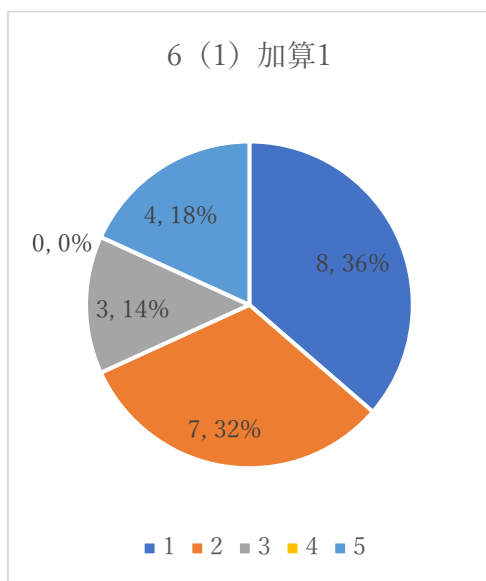
6. まとめ

貴院及び連携施設間で、医療安全管理について、議論・検討を実施し、情報共有することの効果についてお答えください。

(1)今後の地域における医療安全の連携に役立ちましたか。加算1と加算2に分けて回答をお願いします。

1 大いに役立っている 2 どちらかと言えば役立っている 3 どちらかと言えば役立っていない 4 全く役立っていない 5 どちらとも言えない

加算1 1・2・3・4・5



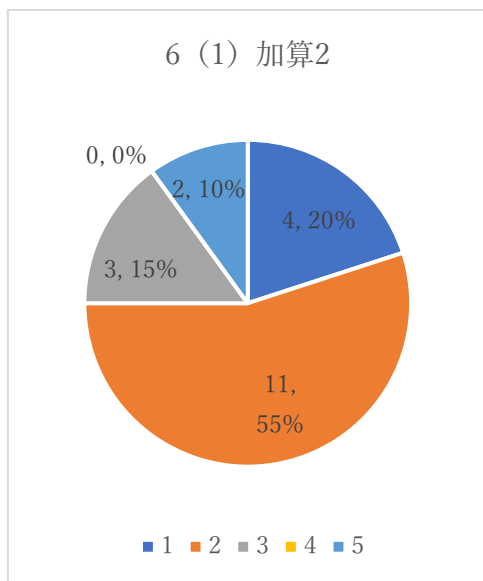
上記の理由を教えてください。

1	問2-(1)にもお答えしましたが、相互ラウンド前に自己評価を実施することで、自院の現状を客観的に確認することができます。また、近隣の病院と連携をすることで、「顔の見える関係」となり、お互いに連携を取り合うことができる、仲間ができることが大きいです。相互ラウンドの時だけでなく、日常的に連携をとることができています。
1	自施設で困ったことを、相談できる。
1	
1	年に1度相互評価を行うことで、自施設に問題が起きた際に情報共有がスムーズに図りやすくなっている。
1	他施設の取り組みを知ると、考え方や方法の選択がひろがる。自院にあった形で現状から改善を目指しやすくなる
1	医療の安全や質の担保、非常事態時の連携を考慮し、患者に安全・安心な医療体制を維持するため、地域連携を図ることに必要性は感じています。そのためには

	地域連携相互ラウンドは有用な手段や機会の1つとなり得るため、今後も相互ラウンドを継続します。
1	同じ急性期の形態で、医師・研修医が連携病院と行き来して診療していることもあり、双方のインシデント・アクシデント事例を一部共有し、同様事例が起きた際の対応、予防対策、教育などに活かすことができている。
1	普段から相談や情報交換を行える関係が構築された。
2	転倒予防など地域を巻き込んだ取り組みを進めるために役立っている。
2	同規模の病院として互いの体制を確認できる。情報を得たい場合の連携病院として活かすことができる
2	医療安全管理者間での、困りごとの相談や情報提供の依頼ができるようになり、自施設での改善やマニュアル整備に役立っている。連携施設の安全の質が向上することで、地域全体の安全の質も向上する。
2	他施設の現状を知るいい機会となっている。また他施設からの指摘などは病院全体を動かすきっかけとなり自院の医療安全の質の向上につながっていると思われる。
2	連合会病院だけではなく、近隣病院の取り組み、加算1ではお互い訪問し合うので施設内見学、現状を確認する事ができる。
2	加算1：地域における医療安全の連携とは、具体的には何をしていったらよいか正直分からないが、年に1回（ないし2回）の相互監視によって、自施設だけでは気付かなかった安全管理上の問題の早期発見に多少は寄与しているのではないかと感じている。
2	施設間で検討、情報共有することで、他施設の取り組みや医療安全体制など高めていくことができる
3	相互評価を受けるが、議論・検討まで至らない。双方がどこまで指摘できるのか探り合いながら行っている。相手にとって失礼のない程度の内容しか伝えることができず。連携施設との関係性を大事にしたいため。当院はリスクマネージャーが頻回に変わるため、関係構築が難しいと感じる。
3	当院は加算1が1施設、加算2が1施設であるため、大阪府や近隣の施設全体あるいは地区をこえて、年に1回や半年に1回の情報共有が、特に連合会病院はできるのではないかと思います。
3	同様機能の施設での取り組みを知ることができ、共有はできたが、議論まではしていない。提案を行うのみで終了する。
5	まだわかりません
5	相互評価項目としての連携という点については、今回はそこまでの活動に至っていないかが分からなかったため、上記評価としました。私自身、地域の連携病院様

	とのつながりを持つことで、情報共有したり、相談できる関係性が築ける点ではとても良い取り組みと思いました。
5	加算1はまだ今年度の訪問を行っておらず評価できる状態にない。
5	連携施設間での医療安全向上に役立っていると考えているが、「地域における」といえるほど、幅広い施設との情報共有する機会にはなっていないと考える。そのため、地域における医療安全の向上という視点では「どちらともいえない」と感じている。

加算2 1・2・3・4・5



上記の理由を教えてください。

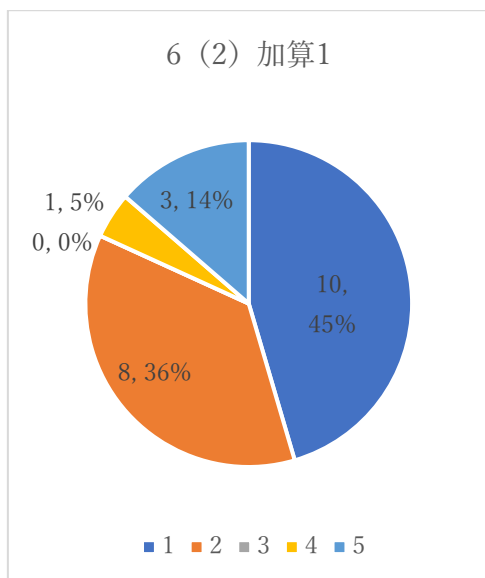
1	自施設で困ったことを、相談できる。
1	加算2は、実際に会って話をしたり施設への訪問を行うことで見えてくる情報があり、自施設に役立てられることはないかと考えることができた。また面識ができることで情報共有が試薬すなったと感じる。
1	医療の安全や質の担保、非常事態時の連携を考慮し、患者に安全・安心な医療体制を維持するため、地域連携を図ることに必要性は感じています。そのためには地域連携相互ラウンドは有用な手段や機会の1つとなり得るため、今後も相互ラウンドを継続します。
1	普段から相談や情報交換を行える関係が構築された。
2	転倒予防など地域を巻き込んだ取り組みを進めるために役立っている。
2	問2-(1)にもお答えしましたが、相互ラウンド前に自己評価を実施することで、自院の現状を客観的に確認することができます。また、近隣の病院と連携をすることで、「顔の見える関係」となり、お互いに連携を取り合うことができる、仲間ができることが大きいです。相互ラウンドの時だけでなく、日常的に連携をとることができています。
2	
2	患者を受けたり送ったりする関係性の中、互いの医療安全の取り組みの状況を知ることができ、送る際の整えに活かすことができる
2	地域における医療安全の連携に役立ったかどうかははっきりしないが、感染管理との連携も行っており身近な病院として認識している。

2	他施設の取り組みを知ると、考え方や方法の選択がひろがる。自院にあった形で現状から改善を目指しやすくなる
2	他施設の現状を知るいい機会となっている。また他施設からの指摘などは病院全体を動かすきっかけとなり自院の医療安全の質の向上につながっていると思われる。
2	連合会病院だけではなく、近隣病院の取り組み、加算1ではお互い訪問し合うので施設内見学、現状を確認する事ができる。
2	加算2：基本的には加算1と同じだが、加算2の場合は施設同士の規模や機能の差が大きいからこそ、「目からうろこ」のような気づきがあるような気がする。
2	連携病院は当院の回復期患者の転院先のひとつでもあり、継続する患者問題を引き継ぐことも多い。転倒やせん妄・BPSD対応など、当院の取り組みを紹介し参考にしてもらっている。当院というよりは連携先にとって役立つことを願って共有している。
2	施設間で検討、情報共有することで、他施設の取り組みや医療安全体制など高めていくことができる
3	相互評価を受けるが、議論・検討まで至らない。双方がどこまで指摘できるのか探り合いながら行っている。相手にとって失礼のない程度の内容しか伝えることができない。連携施設との関係性を大事にしたいため。当院はリスクマネージャーが頻回に変わるため、関係構築が難しいと感じる。
3	当院は加算1が1施設、加算2が1施設であるため、大阪府や近隣の施設全体あるいは地区をこえて、年に1回や半年に1回の情報共有が、特に連合会病院はできるのではないかと思います。
3	後方連携施設との情報共有ができたが議論はできていない。一方的に指導的立場として捉えられている。
5	2A、2D：よくわかりません。2B、2C：役立っていると思う
5	連携施設間での医療安全向上に役立っていると考えているが、「地域における」といえるほど、幅広い施設との情報共有する機会にはなっていないと考える。そのため、地域における医療安全の向上という視点では「どちらともいえない」と感じている。

(2)自施設の課題解決のヒントを得られた等、医療安全推進と医療の質向上に役立ちましたか。加算1と加算2に分けて回答をお願いします。

1 大いに役立っている 2 どちらかと言えば役立っている 3 どちらかと言えば役立っていない 4 全く役立っていない 5 どちらとも言えない

加算1 1・2・3・4・5

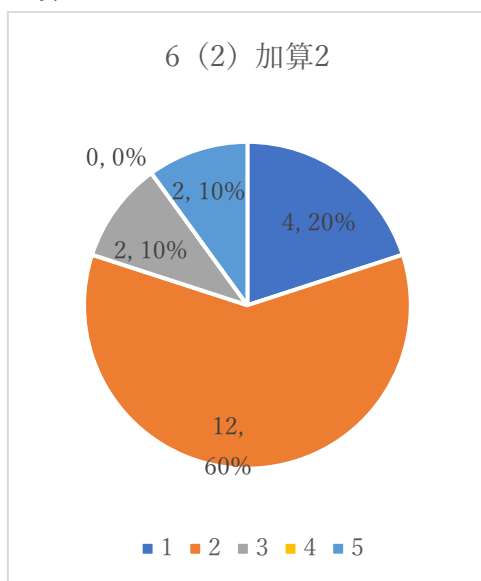


上記の理由を教えてください。

1	当院の問題点と改善策が明確になり、役だっている。
1	自院だけでは解決に向かわないことも、連携施設の違う視点で見て頂くことで解決のヒントとなることがあります。
1	
1	相互評価で他施設の自己評価やラウンドを実施したことで自施設の課題解決のヒントを得られた。(今年度はコミュニケーションエラーや嚙下評価について等)
1	
1	加算1について、自施設の課題解決のヒントをもらっている。
1	複数の施設を巡回することで、各々が試行錯誤されている現状を知ることができます。自施設で導入する場合、有益な情報として活用させていただいております。そのため医療の質の向上に役立つと考えています。評価指標など明確な基準につきましては、相互ラウンドを継続する上で今後の課題になるのではないのでしょうか。
1	加算1:薬剤管理やVTE予防の取り組み等において、自施設で体制整備が不十分と感じている点について、改善へ向けたヒントを得られたと感じている。
1	全職員で取り組む医療安全が当院の課題だが、指揮・命令で動くことができる連

	携病院ではあるが、全職員をどのように巻き込んで職種関係なく横断的に取り組むのかのヒントが得られた。
1	資料をいただき参考にしている。
2	他施設からの指摘であることを自施設に伝えることで、改善案が通りやすくなる
2	具体的対策案が出るがあったため。
2	同じような問題を抱えている
2	仕組みや運用を同じ規模で確認でき、問題解決に活かすことができると思われるから
2	上記と同様で、他施設の工夫や取り組みを共有することや、指摘事項の改善を行うことで安全に関する質が向上する。
2	他施設の現状を知るいい機会となっている。また他施設からの指摘などは病院全体を動かすきっかけとなり自院の医療安全の質の向上につながっていると思われる。
2	
2	自己評価では気づけないことが他者評価で気づくことができ、改善策を実行しながら医療の質の向上につながっていると感じる
4	まだない
5	互いの病院の取り組みを確認し、参考となることは沢山ありました。タイムリーに改善すべき項目はありませんでしたので、今後の取り組みの中で、活用できる情報があれば参考にしたいと思います。
5	加算1はまだ今年度の訪問を行っておらず評価できる状態にない。
5	質向上としての評価はできていない

加算2 1・2・3・4・5



上記の理由を教えてください。

1	当院の問題点と改善策が明確になり、役だっている。
1	複数の施設を巡回することで、各々が試行錯誤されている現状を知ることができ ます。自施設で導入する場合、有益な情報として活用させていただいております。 そのため医療の質の向上に役立つと考えています。評価指標など明確な基準につ きましては、相互ラウンドを継続する上で今後の課題になるのではないでしょ うか。
1	加算2：小規模で共通のインシデント報告システムがない連携施設の悩みや課題 を聞く中で、院内の異なる状況、環境で働く部署の医療安全推進に介入しようと する場合も、正論を押し付けることに意味はなく、まずは相手の状況をとことん 理解することが重要だと感じた。
1	資料をいただき参考にしている。
2	他施設からの指摘であることを自施設に伝えることで、改善案が通りやすくなる
2	具体的対策案が出るがあったため。
2	2A、2D：ない。2B、2C：頻回に情報交換や意見を求めたりするので役立つ
2	同じような問題を抱えている
2	加算2は、実際に話を行ったり施設への訪問を行うことで見えてくる情報があ り、自施設に役立てられることはないかと考えることができた。
2	コロナ禍で書面でのやり取りとなり今年度3年ぶりに訪問する予定となってい る。全く役になっていないということはないため。
2	

2	他施設の現状を知るいい機会となっている。また他施設からの指摘などは病院全体を動かすきっかけとなり自院の医療安全の質の向上につながっていると思われる。
2	加算2についても限られた人員の中で工夫して取り組んでいることなど情報を得られ、医療安全の推進に役立っていると考え。
2	
2	事故分析の方法などに課題があるとのことだが、当院も部署のリスクマネージャーや所属長により分析が不十分であったりリスク感性が低かったりと共通する課題のひとつではあると考えている。リスクマネージャーの育成など、今後も共に考えていきたいと思う。
2	自己評価では気づけないことが他者評価で気づくことができ、改善策を実行しながら医療の質の向上につながっていると感じる
3	自院だけでは解決に向かわないことも、連携施設の違う視点で見て頂くことで解決のヒントとなることがあります。
3	規模や体制の違いから何とも言えない
5	
5	質向上としての評価はできていない